

## 平成27年度 イブニングサロン実施状況／愛知県

### (1) 実施状況

○第1回：平成27年7月9日（木）

- ・場 所：東海工業専門学校
- ・参加者：22名（学生12名、社会人10名）

○第2回：平成27年12月3日（木）

- ・場 所：名城大学
- ・参加者：36名（学生26名、社会人10名）

○第3回：平成27年12月8日（火）

- ・場 所：名電高等学校
- ・参加者：21名（学生12名、社会人9名）

○第4回：平成27年12月15日（火）

- ・場 所：中部大学
- ・参加者：31名（学生20名、社会人11名）



## (2) 主な話題

### ○第1回

- ・ 社会資本の老朽化対策について
  - －近年、社会資本の適切な管理に向け、スクラップ&ビルドではなく、計画的に維持補修を行い施設の長寿命化を図ることでトータルコストを抑える方向となった。今後、維持補修の仕事が増加すると考える。
- ・ 転勤について
  - －会社によって異なるが、海外も含め転勤はあり、現場によっては単身赴任になることも。中には地域密着で転勤のない会社もある。
- ・ 資格の取得について
  - －資格を取得しないと仕事の幅は広がらない。大きな仕事をしたければ1級土木施工管理技士、測量士は必須。資格により携われる仕事異なってくるため自ずと給料（手当）にも影響する。

### ○第2回

- ・ 仕事のやりがいについて
  - －地元の方に直接感謝をしてもらえる仕事にやりがいを感じる。多くの関係者と協力し、新しい技術の開発やものづくりに携わり、完成した時の達成感は格別。
- ・ 勤務先（転勤）について
  - －希望は聞いてくれるが叶うかどうかはその時の状況次第。結婚や介護など家庭の事情を考慮してくれることもある。配属先は転勤なし（支店なし）～県内～国内～海外など職種や企業規模によって異なる。
- ・ 資格の取得について
  - －スキルアップする上で、資格を取得することは非常に大切。技術士、土木施工管理技士、コンクリート診断士など社会ニーズに応じた資格を取得することにより、仕事の幅が広がり、給料（手当）も含め評価される。

### ○第3回

- ・ 社会に出る前にやっておくべきことについて
  - －学校で学ぶことは社会に出てから役に立つ。目の前にあることを一所懸命に取り組むこと、大切な仲間を沢山つくることは社会に出ても活きる。
- ・ 土木と建築の違いについて
  - －構造物を築造するという基本は同じ。建築は公共工事が1割、民間工事が9割、土木はその逆。今後、土木は構造物の老朽化対策など維持・修繕工事が、建築は高齢社会への対応、空き家対策などが重要となる。
- ・ 語学（英語）の必要性について
  - －英語論文の解読や、海外での仕事も増えグローバル化に対応するため、コミュニケーションがとれる程度の英語力は取得した方が便利。

### ○第4回

- ・ 仕事のやりがいについて
  - －沢山の仲間と苦労しながら完成させた時の良い3K（感動・感謝・貢献）は悪い3K（きつい・汚い・危険）を忘れさせてくれる。
- ・ 社会人1年目の仕事について
  - －覚えることは沢山あるが、上司に教えてもらいながらこなしていく。現場の管理・監督の方法やCADなどのスキルは、仕事に携わりながら身につけていく。
- ・ 資格の取得について
  - －技術士、土木施工管理技士、コンクリート診断士などの資格を取得することにより、仕事の幅が広がり、給料（手当）も含め評価される。